

高知県商工団体連合会 NO.837(50-21)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/

このニュースはホームページでもご覧になれます

# 高商連ニュース

## 県婦協第37回定期総会報告②

### ■秋の運動・拡大状況 (11/18)

	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	2	0	0	1	0	2
香美郡	7	2	2	2	0	6
南国	5	1	4	2	0	3
高知	16	3	3	4	3	7
仁淀川	4	0	0	1	0	3
須崎	2	1	0	1	0	1
中村	8	0	4	0	0	5
計	44	7	13	11	3	27

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

「本多さんありがとうございました」  
 県婦協総会の昼休み時間を使って、10月に退職した本多京子さんの「ありがとう会」が開催されました。

昼食後の別腹に美味しいシヨートケーキを食べながら、本多さんの活動を振り返るスライドショーを見ました。懐かしい諸先輩の写真に声が上がります。

その後、山崎龍太郎副会長が県連、県婦協、県共済会を代表して「感謝状」を贈呈。

【感謝状】「貴女は33年5ヶ月にわたり、高商連事務局員として事務局活動を支えながら、会員の記帳・決算等の要求に応え、また、県婦協事務局長として所得税法第56条廃止など業者婦人の地位向上の運動、県共済会専務理事として命と健康を守る運動等に献身的に努めてこられました。」

退職後も、私たちの活動にご協力、ご支援をいただくことを願いつつ、長きにわたって献身的に任務を果たしてこられた貴女に感謝状を贈ります。」



片山澄子県婦協副会長から花束が贈呈され、山崎県連副会長、田村成子県婦協会長、高山健夫県共済会副理事長、尾原明広元県連事務局長から、感謝の言葉が送られました。

県婦協総会に参加して

(感想文より)

・小橋則通さんの沖繩のお話  
 がわかりやすく聞き入りました。

・「いろいろかいり」の岡林さんの発言は、たいへんな税務調査をのりこえたたくましさ  
 が伝わってきました。「人権」という言葉を自分のものとし

た岡林さんのたくましさと思えます。今「いろいろかいり」の岡林さんから私たちが励まされています。

今回、本多さんの「ありがとう会」も有り、スライドショーで諸先輩方の若き日を見られたり、沖繩の話も母親大会の話も税務調査の話と盛りだくさんで、長時間とはなりませんが楽しい時間でした。

毎年、皆さんに会えるのも楽しませて頂いています。

お疲れさまでした。また人数も増やして楽しみました。ありがとうございます。ありがとうございました。

年に一度この会に参加できることが私の元気の源の一つだ。なあと今日も実感しました。とにかく明るくパワーがあふれています。「いろいろかいり」さんのお話は笑いの中に厳しい闘いを仲間を見つけて乗りこえた方の確信が満ちていて、さすが「あつたか民商！」と感激しました。

1日の司会などみなさんお疲れ様でした。

本多さんの笑顔を久しぶりに拝見できてよかったです。本当に長い間お疲れ様でした。これからとも一緒に頑張りましょう。

知らないことをいろいろ教えていただきました。つらい体験を話しながら明るく乗り越えられた方など、とても良い話を聞けて良かったです。

### J A土佐くろしお 矢野俊二専務と懇談

須崎民商は、農民組合須崎と共同で、J A土佐くろしお組合を訪問。11月18日開催のJ Aまつりの会場で、日本農業を守る「署名、消費税増税中止・5%に戻す」署名の取り組みを、共同で行うことを申し入れたもの。応じた矢野俊二専務は、日本農業を守ることは大切「農業生産者にとって、増税されると大変なことになると述べて署名活動に賛同。

須崎民商からは、商工新聞号外を持参し、消費税増税に加えて、軽減税率とインボイスが、農家にも重大な影響を及ぼすことを説明。さらに、総販売額から委託販売手数料を差し引いて、消費税課税売上を算出できる現行制度の適用を除外する国税庁の軽減税率制度の取扱通達を紹介。農協などを通じて、食用農産物を出荷し、販売を委託している農家は、課税売上がかさ上げされ、消費税納税額の増大や、免税・簡易課税からの除外が危惧されるものです。

「なんとしても増税を止めさせましょう」の呼び掛けに、J Aくろしお組合は、来年以降も、署名に取り組むことで合意しました。

(全商連運動推進ニュースより)

### 県婦協第37回総会での学習講演

#### オール沖繩のたたかいに学ぶ ①

小橋則通さん(年金者組合)

#### 沖繩初印象—感動

私が初めて沖繩に行った時、故瀬長亀次郎さんの元秘書・佐次田勉さんが「沖繩は初めてですか？沖繩で活動するときはまず『沖繩の戦跡と基地、美しい自然、沖繩県民の優しい心』この3つを感じとってほしい・・・」と話されました。

平和の礎、ひめゆりの塔、ガマ、普天間・嘉手納基地・・・  
 辺野古の海、山原(ヤンバル)の山々、ヤンバルクイナ、辺戸岬。広がるエメラルドの海を縁取る白い波で島々が浮き上がって見える絶景・・・

三線が奏でる島唄、逆境に抗した人々の営み、優しくもまた、たくましい姿・・・

いま思えばオール沖繩のルーツがここにあるような気がします。  
**1995年、米軍海兵隊員による少女暴行事件で怒り爆発**

半世紀を越える長きにわたる基地被害、耐えに耐えてきた県民の怒りは限界を超えもう後戻りできないところに。基地被害の根絶と基地縮小・普天間基地撤去の県民総ぐるみのたたかいへと発展。それでも政府は県民の総意を無視して新基地建設を強行してきたのです。